

分野：③水質

総合学習環境講座「水の旅」

環境アドバイザー

谷合 宜明

対象 新座市立野寺小学校5年3クラス(99人)

所要時間



45分(計135分)

場所 5年生教室

実施時期

令和2年10月30日

概要

地球上を循環している水、特に私たちが使っている生活水は川の水を浄水場でエネルギーを使って浄化するのにCO₂を出すことを学ぶ。

プログラムの
ねらい

水が大切な資源であること、生活水を作るためには大量の電気を使うのでCO₂を出すことに焦点を当てた授業にする。

プログラムの内容

1 水の循環(15分)

- 世界の水が循環していること

2 エチオピアの水くみ(10分)

- 一日30ℓの水をくむために5時間もかけていることの紹介(スライド)

3 新座の飲み水の話(10分)

- 荒川と利根川の川水を浄水場で県水として引いてきて市の貯水場で井戸水と混ぜていること。
- 浄水場では水をきれいにするためにエネルギーを使っているためCO₂を出していること。

4 生活の中でも水を大切にしよう(10分)

- 歯磨き、風呂など水を大切にできることを全員から吸い上げた。

受講者の反応

飲み水が0.01%という限られた資源であることや、海の生き物がプラスチックを飲み込んでしまうことにショックをうけていました。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要

